



大山

Oyama



## 縁起の良い花で、新年を迎えよう

12月22日、大山公民館のフラワーアレンジメント教室の受講生たちが「正月用の花飾り」を制作した。この教室では、毎回、季節の花々を使った作品づくりを楽しんでおり、今回は、前回のクリスマスリース作りに続いて行われたもの。この日は、8人の受講生が洋風にアレンジした花飾りを作った。完成した作品は自宅の玄関等に飾り、新年を祝ったり来客へのおもてなしにしたりした。



## 大山で始める、楽しい暮らし

12月4日、大山公民館で「大山町移住者交流会」が開催された。この交流会は、移住者と地域住民の交流の場を設けるため、大山公民館が企画して多くの団体の協力のもと行われたもの。51人の参加者が自己紹介をしたあと、先輩移住者が大山での暮らしについて発表したほか、折り紙のワークショップなども行われた。昼食のカレーライスを食べながら歓談するなど、和やかな雰囲気の交流会となった。

上津江

Kamitsue



## 交通安全街頭啓発活動を実施

12月12日、町内にある㈱トライ・ウッドが上野田地区の交差点で、早朝の交通安全街頭啓発活動を行った。この活動は、同社の「地元企業として様々な形で地域に貢献したい」という思いから実施されたもの。参加した社員らは、「スピードダウン」「横断歩行者に注意!」などと書かれた手持ちの看板を掲げ、朝から元気に交通安全を呼び掛けている。



## 集落の現状を知り、共助の輪を広げる

12月初旬、川村集落支援員が町内32集落の班長宅を訪問。各班長に、道路愛護や祭り、公民館の管理など、集落の共同活動の現状について聞き取りを行った。その中で、高齢化や人口減少、コロナ禍によって集落の活動状況が変化してきていることが分かった。今後はその調査結果をもとに、住民自治組織「活き生きかみつえ」と連携しながら、地域課題の解決や地域支援活動を行っていく。



日田

Hita



## 日田に伝わる「鶺鴒」にふれる

12月6日、三和小学校の4年生を対象に、文化財保護課の職員が「鶺鴒」の授業を実施。鶺鴒匠や棹差し(船頭)の仕事、日田の鶺鴒の歴史などのほか、後継者不在についても話をした。児童からは「日田の鶺鴒について初めて知った」「鶺鴒の目がエメラルドグリーンでかわいい」「近くで鶺鴒や鶺鴒を見てみたい」といった感想が聞かれ、若い世代に日田の鶺鴒を知ってもらう良い機会となった。



## 日田杉の丸太を切って、タスキをつなごう

11月26日、萩尾公園トレイルコースで、「天領日田トレイル駅伝2022」が行われた。この大会は、森林空間での活動を通じて、森林・林業に対する愛着や理解を深めてもらう目的で開催されているもの。ゲストランナーにプロトレイルランナーの荒木宏太さんを迎え、市内外から約80人が参加。「日田杉の丸太を切らないとタスキが渡せない」という日田ならではのルールのもと、楽しく完走した。



## 赤ちゃん × 生演奏のミニミニ音楽会

12月22日、チャイルドプラザで「クリスマス★ミニミニ音楽会」が開催された。市内で活躍する音楽家が、バイオリンとクラリネットの生演奏を披露。楽器が奏でる温かな音色に、8組の親子が耳を傾けていた。時折聞こえる赤ちゃんの泣き声や笑い声がまるで演奏者とセッションしているかのように、会場内に楽しいハーモニーが生まれていた。参加者からは「ブラボー!」の声も寄せられた。



## 目指せ!健康長寿

12月15日、市役所で「いきいき!地域づくりによる介護予防活動表彰」が行われた。これは、市内の公民館等で週に1回体操をする住民主体の教室を行っている人たちの中で、積極的に活動を行っている個人・団体に対して県が表彰するもの。日田市では5人と1団体が受賞。受賞者は「これからも健康長寿に向けて、みんなでこの活動を続けていきたい」と話した。